

ダム整備が効果を発揮(鳥取県 殿ダム)

- 平成29年8月7日から台風5号による大雨によって、袋川で洪水が発生。
- 殿ダム流域では、8月7日12時から8日12時にかけて累計で121.4ミリの大雨となった。
- 7日22時に殿ダムへの最大流入量(44.17m³/s)を記録。
- 殿ダムによる洪水調節で、袋川中郷橋付近(ダム下流約10km、宮ノ下小学校付近)において約0.25mの水位低下ができたものと推定される。



殿ダム諸元

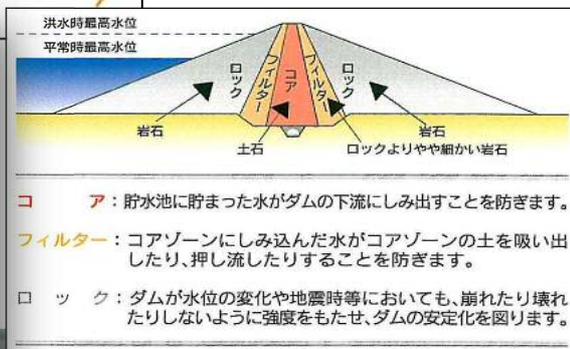
- ・場所: 鳥取市国府町殿
- ・形式: ロックフィルダム
- ・高さ: 75m
- ・ダムの幅: 294m
- ・総貯水容量: 1,240万m³
- ・洪水調節容量: 550万m³
- ・完成: 平成24年3月



【殿ダムの目的】

- ・洪水調節
- ・河川環境の保全
- ・工業用水の供給
- ・水道用水の供給
- ・水力発電

下流より望む



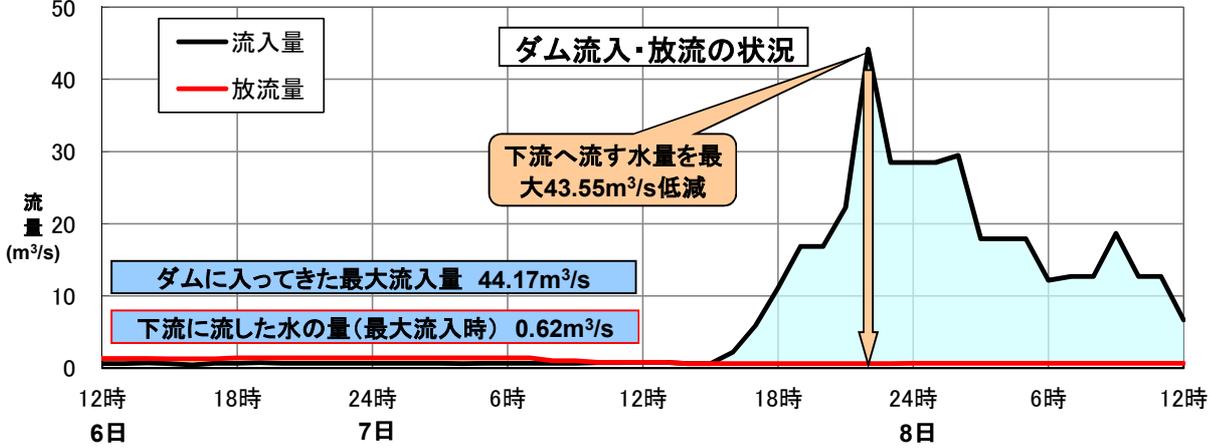
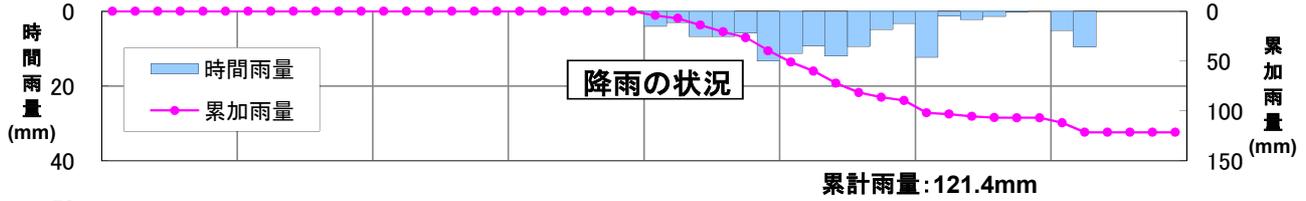
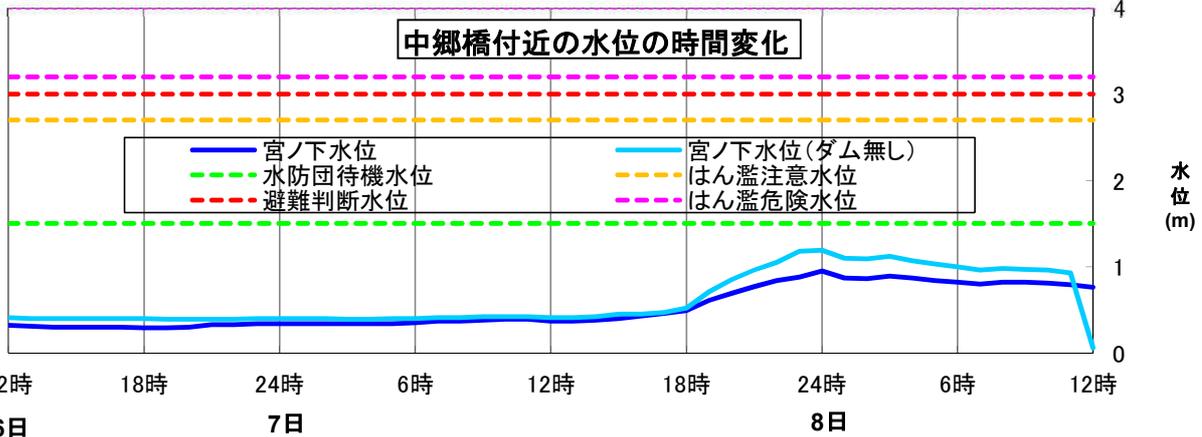
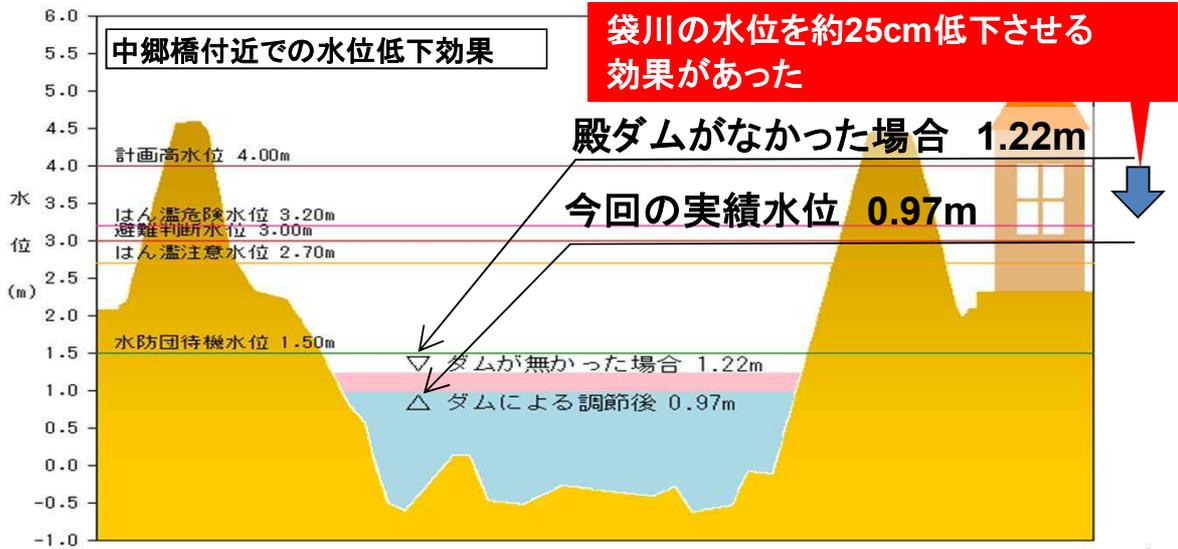
- コア**: 貯水池に貯まった水がダムの下流にしみ出すことを防ぎます。
- フィルター**: コアゾーンにしみ込んだ水がコアゾーンの土を吸い出したり、押し流したりすることを防ぎます。
- ロック**: ダムが水位の変化や地震時等においても、崩れたり壊れたりしないように強度をもたせ、ダムの安定化を図ります。

水辺の楽校町屋付近 8日9:00状況写真



中郷橋上流の水辺の楽校広場について殿ダムの洪水調節で浸水を軽減しました。

ダム整備が効果を発揮(鳥取県 殿ダム)



※数値は速報値であり、今後変わることがあります。